

令和3年度 プラスワン・アクション
西郷一中の学校経営・運営ビジョン

生徒・保護者の願いや期待に応え、一人一人の夢と希望を実現する学校
～共に学び、共に育つ学校（自立と共生）～

学校経営の方針

学校教育目標の具現化を目指し、同一歩調で取り組み
生徒一人一人の自己実現を目指します。

- 1 生徒一人一人を大切にします。
- 2 全職員が教育活動に全力を尽くします。
- 3 職員一人一人が創意工夫し学力向上を目指します。
- 4 基本的な生活習慣をしっかり身に付けさせます。
- 5 学校事故の絶無に全力をあげます。
- 6 学校を内に外に開き、保護者や地域の方の期待に応えていきます。

昨年度の反省・改善点

<本校の課題>

- ◎学力の向上(活用力)
- ◎より良い人間関係
- ◎基礎体力の向上
- ◎う歯治療率の向上

※令和2年学校評価実施
評価者：保護者、生徒
学校評議員
教職員
※特に課題と受け止めた
項目を「願い」とした。

<生徒の願い>

◇授業や悩みについて相談
できるようにしてほしい。

<保護者の願い>

◇生徒の声に耳を傾け、わ
かりやすい授業を展開し
て欲しい。
◇教育環境を充実させて欲
しい。

必四学習（重点事項）

- ・学び合い学習の工夫
- ・読書の活動の推進
- ・50分授業の徹底
- ・家庭学習計画時間の充実

教育目標

○生きる力を持つ生徒の育成

生徒目標

○主体的に学ぶ生徒 ○心豊かな生徒
○健康でよく働く生徒

目指す生徒の姿

- **主体的に学ぶ生徒**
自己実現に向けて、自ら進んで学ぶ生徒
- **心豊かな生徒**
自分を大切にし、他の人を思いやる生徒
- **健康でよく働く生徒**
体力の向上と健康の保持・増進に努力する生徒

生徒の気構え

何ごとも
・やる気をおこし
・本気になって
・根気よく

本校の特色ある教育活動

- ◎ 総合的な学習の時間の一層の充実
 - ・1年：文化・自然・環境、栽培等の郷土環境学習
 - ・2年：企業や公共施設等での職場体験学習
 - ・3年：清掃ボランティア活動、修学旅行体験学習
- ◎ 朝の活動の充実（読書活動、補充学習など）
- ◎ 帰りの短学活の充実（スピーチ、称賛の場の設定）
- ◎ 幼小中連携の強化（授業研究会、体験授業、部活動体験）
- ◎ 人権教育の推進（笑顔のあいさつ運動、良さを認める）
- ◎ 食育活動の推進（弁当の日、料理コンクールへの参加）
- ◎ メディアコントロール・ノー部活デーの推進
- ◎ S S Tにおける学力・体力向上の時間の設定

西郷村教育大綱
「自立と共生」

<基本目標>

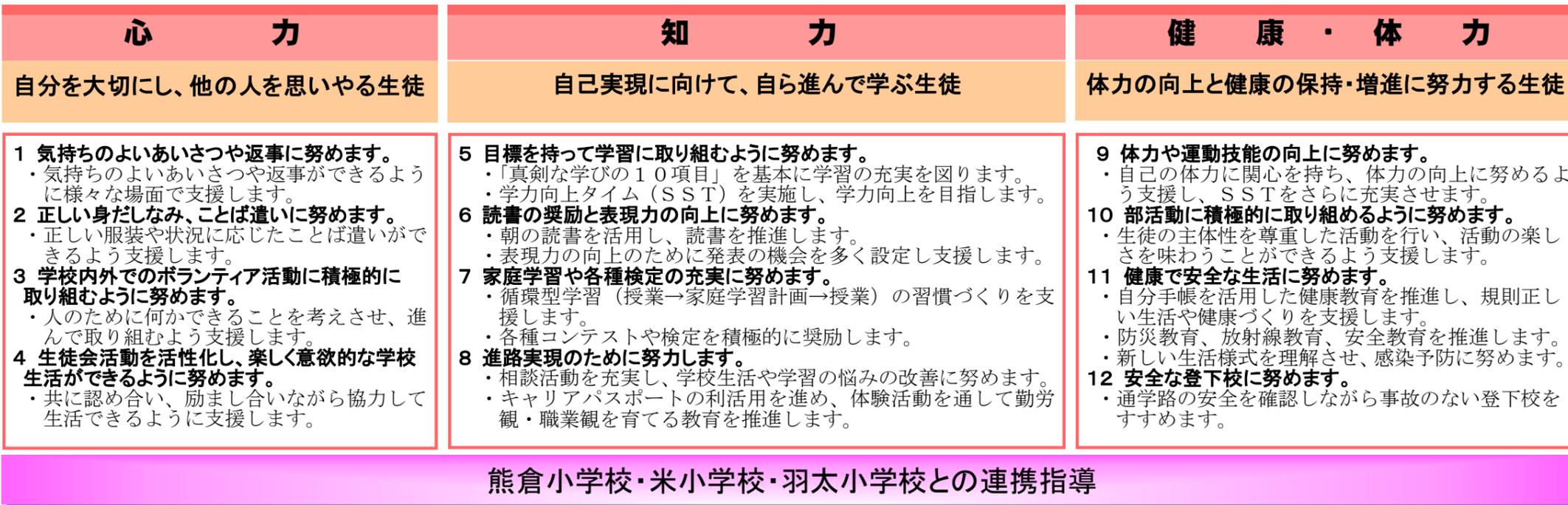
自らを高め、共によりよく生きる
人づくり

- ①自他の命を大切にする人
- ②夢に向かって学び、生き抜く力を高める人
- ③郷土の自然や文化に誇りを持ち、郷土を愛する人
- ④スポーツ、芸術、文化にすすんで親しむ人
- ⑤感謝の心、思いやりの心を大事にする人
- ⑥生きがいを持ち、社会に貢献できる人
- ⑦お互いの個性を認め合い、支え合える人

西郷村「子ども宣言」

私たち、西郷村の子どもは、
つぎの「7つのします」を行います。

- 1 命を大切にします。
- 2 笑顔であいさつ、元気な返事をします
- 3 本気で学び、自分の考えをはっきり話
します。
- 4 きまりを守り、いじめのない学校にし
ます。
- 5 感謝の心、思いやりの心を大事にし
ます。
- 6 自分のこともまわりの人のことも大切
にします。
- 7 夢に向かって学び、努力します。



教師が力をつける

学校を開く

<目指す教師の姿>

◎保護者・地域から信頼され、支援される教師

- ・生徒に愛情を持ち、寄り添いながら責任と情熱を持って教育にあたる教師
- ・常に自分自身を磨き、率先垂範できる教師
- ・常に向上心を持ち研修に励む教師
- ・生徒に確かな学力を身に付けさせることのできる力量を持った教師
- ・保護者の気持ちを理解し、家庭地域と協力しその願いに応えられる教師

<研修と指導の一体化に努めます>

- 知識・技能の着実な習得に力を入れ、生徒の学びに向かう力を育みます。
- 西郷村学力向上推進事業に取り組みます。
・授業研究を通して、授業力を付けます。
・指導方法を改善して、わかる授業に努めます。
・外部講師を招聘し、指導力を磨きます
- 生徒指導に関する事例研究を通して、積極的な生徒指導のあり方を研究し、いじめ・不登校の絶無を目指します。
- 小・中学校間の連携を一層推進します。

<目指す親の姿>

◎ 子育て宣言を積極的に取り組む親の姿

- ・あいさつ、返事をし合える親
- ・「ほめる・しかる」ことができる親
- ・感謝することを子どもと共に実践できる親
- ・子どもの安全と安心のために汗のかける親
- ・社会のルールと命の大切さを教え、導く親
- ・子どもの可能性を引き出し、幸せを喜び合える親
- ・家族としての喜び、家庭の良さを実感させることができる親

<地域との連携を大切にします>

- 13 幼・小・中連携を推進します。
・生活および学習のつながりを丁寧に行います。
- 14 学校からの情報提供に努めます。
・学校だより、HP、メール、PTA新聞、行事カレンダーの有効な活用を図ります。
- 15 関係機関との連携に努めます。
・学校運営協議会、PTA活動、子ども安全見守り隊各保護者会、外部コーチ等との連携に努めます。
- 16 学習環境の整備に努めます。
・ICT機器、地域人材・教材の利活用に努めます。